

65歳以上の方を対象に、サポカー補助金が始まります。

マツダの登録乗用車は全車種全グレード対象。
商用車、軽自動車は一部グレードが対象。

①衝突被害軽減ブレーキ(対歩行者) / ②ペダル踏み間違い急発進抑制装置 搭載車の場合、

登録車10万円、軽自動車7万円

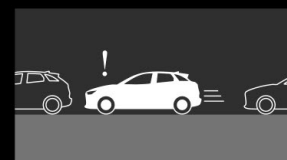
①衝突被害軽減ブレーキ(対歩行者) 搭載車の場合、

登録車6万円、軽自動車3万円

※令和2年(2020年)3月末時点で満65歳以上となる高齢運転者が対象となります。※補助金の対象は、審査委員会の審査を経て「①衝突被害軽減ブレーキ(対歩行者)」及び「②ペダル踏み間違い急発進抑制装置」搭載車です。※補助金の対象として公表された日以降、新車新規登録(届出)された自動車に限り対象となります。※補助金の交付を受けた新車については、新車新規登録(届出)日より1年以上の間、原則として同一の者による使用(車検証上の使用者名義を変更しないこと)が必要となります。※自家用自動車については、補助金の交付は1人につき1台限りで、法人名義での購入は対象外となります。※申請総額が予算額を超過し次車、終了となります。※車両登録後、一定期間内に審査機関に申請が受理される必要があります。交付決定後申請者に直接交付されます。※補助金の交付を受けるためにはその他条件があります。詳細は営業スタッフまでお尋ねください。

●制度の詳細や申請手続き等については、今後発表される予定です。

「マツダの登録乗用車は、全車種全グレードに下記①②の安全技術が標準装備」



①衝突被害軽減ブレーキ(対歩行者)

【SBS/ASCBS】

先行車や前方の歩行者をカメラで検知し(対車両:約4~80km/h走行時、対歩行者:約10~80km/h走行時)、ブレーキを自動制御して衝突回避をサポートします。



②ペダル踏み間違い急発進抑制装置

【AT誤発進抑制制御(前進時)】

徐行中や停車時でカメラや超音波センサーが前方に障害物を検知しているにも関わらず、必要以上にアクセルペダルが踏み込まれた場合、急発進を抑制します。

※標準装備:AT全車

Body Color : ソニックシルバーマトリック

MAZDA 2 全グレード サポカー補助金対象

思い通りに走れるという、クルマの基本性能にこだわること。自然と笑みがこぼれる程、運転しやすいクルマです。

ガソリンエンジン搭載モデル 15S SKYACTIV-G 1.5 / 6EC-AT / 2WD [L12A10]

車両本体価格(消費税込) ¥1,573,000

マツダスカイブラン
特別設定クレジット
2.99%
実質年率

マツダスカイブランご利用で
【分割払手数料率2.99%(実質年率)】

月々 **9,800円**

ボーナス払いなし(3年型・37回・1,000kmタイプ)

●頭金/下取車金額	519,102円	●最終1回前のお支払分	9,784円
●立替支払元金	1,053,898円	●最終回(残価額)お支払分	786,000円
●総お支払回数	37回	●分割支払金合計額	1,138,784円
●月々のお支払い分	9,800円×35回	●お支払総額	1,657,886円

マツダはコンパクトカーでも 先進安全技術が標準装備

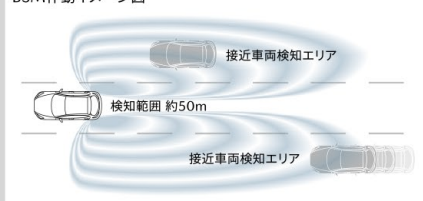
【走行時の後方からの車の接近を通知する】

ブラインド・スポット・モニタリング(BSM)

BSMは約15km/h以上での走行時、隣車線の上の側方および後方から接近する車両を検知すると、検知した側のドアミラー鏡面のインジケーターが点灯しドライバーに通知。その状態でウインカーを操作するとインジケーターの点滅と警告音で警告し、車線変更の中断を促します。

*検知エリア:自車の左右に隣接する車線で、自車のリアドア後端から自車の後方約50m

BSM作用イメージ図



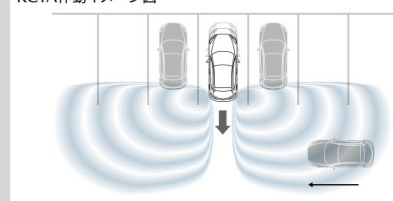
【駐車時の後方からの車の接近を通知する】

リア・クロス・トラフィック・アラート(RCTA)

RCTAは駐車場からバックで出る際に接近してくる車両を検知してドライバーに警告し、安全確認をサポートします。

*車両後退時には、左右から接近する車両を検知するとドアミラーの鏡面に備えたインジケーターの点滅と警告音で警告します。
*リアパーキングセンサー(センター/コーナー)は、近距離にある静止物を検知し、警告音で警告するシステムであり、RCTAとは機能が異なります。

RCTA作用イメージ図



SBS/アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート(アドバンストSCBS)〈被害軽減ブレーキ(対歩行者)〉:対象物(特殊な外観をした車両、部分的に見えている、隠れている、もしくは背景に溶け込んでいる車両と歩行者など)、天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(カーブが連続する道路など)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。
▲掲載の安全技術の機能ASCBS&AT誤発進抑制制御[前進時]、SBS,BSM,RCTAは、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。

□AT誤発進抑制制御[前進時]:道路状況(急カーブ、急な坂道など)、天候状況(雨・雪・霧など)、障害物の形状(低い・小さい・細いなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。□ブラインド・スポット・モニタリング(BSM):天候状況(雨・雪・霧など)、接近車両の状況(自車に接近してこない、速度差がなく長時間並走しているなど)、道路状況(道路幅が極端に広い・狭いなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。□リア・クロス・トラフィック・アラート(RCTA):天候状況(雨・雪など)、隣接する壁や駐車車両の状況などの条件によっては適切に作動しない場合があります。



西四国マツダ 2020 3/7 sat ▶ 3/8 sun

MAZDA SAFETY SUPPORT FAIR



マツダは2020年1月30日に
創立100周年を迎えました。

100周年記念サイト

